

YOKOHAMA-SXIP副専攻プログラム 2023年度 履修案内



レジリエントな社会への変革をリードする 産官学連携ヨコハマ国際教育プログラム (SXリーダー育成コース)

グローバル社会のサステナビリティ課題から事業を構想し、ステークホルダーと共同して新しい仕組みや新技術を社会実装する起業家などレジリエントな社会への変革をリードし、持続可能な未来社会を創造する

SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）人材を育成することを目的としたプログラム

横浜国立大学国際戦略推進機構

目 次

| | |
|-----------------------------|-----|
| 1. YOKOHAMA-SXIP 副専攻プログラム概要 | P 1 |
| 2. 履修方法 | P 2 |
| 3. 修了証書申請方法 | P 2 |
| 4. 問い合わせ先 | P 3 |

参考資料 1. 2023年度開講科目一覧 P 3

参考資料 2. 申請書類

様式① 修了証書申請書 P 4

様式② 「産業界等連携科目」認定申請書 P 5



問い合わせ先（学務・国際戦略部グローバル推進課（学生センター2階））

レジリエントな社会への変革をリードする産官学連携

ヨコハマ国際教育プログラム【YOKOHAMA-SXIP 副専攻プログラム】

(SX リーダー育成コース)

1. プログラムの概要

本プログラムは、グローバル社会のサステナビリティ課題から事業を構想し、ステークホルダーと共同して新しい仕組みや新技術を社会実装する起業家などレジリエントな社会への変革をリードし、持続可能な未来社会を創造するSX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)人材を育成することを目的としたプログラムです。

2. 対象学生

経済学部、経営学部、理工学部の正規学部生(留学生を除く)を対象とします。

3. コース内容と修了要件

インド・オーストラリアの協定対象校*1との国際共修学習や海外研修を通して、コミュニケーション能力を向上させ、国際協働能力を備えるとともに、サステナビリティ課題から事業を構想し、新しい仕組みや新技術の社会実装を目指した演習等を行い、より実践性の高い知の修得を目指します。

(A) SXIP科目「SXIP国際協働演習」(必修)を2単位、(B) MAB/SDGs関連科目、(C) 産業界等連携科目又は(D) グローバル関連科目の3カテゴリーの選択科目から2カテゴリーで4単位以上を履修し、必修科目「SXIP国際協働演習」において、インド又はオーストラリアの協定校での海外演習を行い、合計6単位を揃えることを要件として修了書が授与されます。

修了要件【表1】

| カテゴリー | 単位数(カテゴリー別) | 合計単位数 |
|--|-----------------------------|-------|
| (A) SXIP科目(必修) | 2単位 | 6単位以上 |
| (B) MAB/SDGs関連科目、 (C) 産業界等連携科目*2 又は (D) グローバル関連科目 | (B)~(D)のうち2カテゴリーから 4単位以上 | |

*1 パートナー大学(協定校)

- ・インド(アンナ大学、インド工科大学カンプール校、パンジャブ大学、ベロール工科大学(土木化学工学部 化学工学))
- ・オーストラリア(グリフィス大学、ニューカッスル大学)

*2 産業界等連携科目について、授業以外の活動で、単位の出ない活動についても、一定の審査を経て認められれば本プログラムの副専攻単位として扱います(ただし、単位の出ない活動については、YOKOHAMA-SXIP 副専攻プログラムの修了要件として1単位とみなしますが、本学の科目としての単位認定はありません)。

詳細は2ページ「4. 履修方法」の(3)「産業界等連携科目に相当する活動」を参照してください。

*3 授業科目については、3ページの「2023年度開講科目について」に記載されている科目が対象となりますが、2022年度以前に開講された同一名称の科目についても対象となります。

4. 履修方法

(1) 「S X I P国際協働演習」の履修は、各パートナー大学の公募に応募の上、面接を経て選抜されてから、所属の学務担当係へ期間外履修登録を申請してください。

(2) その他の科目は、特別な手続きは必要ありません。受講を希望する科目について春学期と秋学期の履修登録期間中に他の科目と同様にウェブサイト（学務情報システム）から履修登録をしてください。

(3) 「産業界等連携科目に相当する活動」は、以下の活動について、1単位（本副専攻の修了要件として1単位相当）とみなします。

・ YNU ビジネスプランコンテスト

* 修了証書申請時に様式②（活動内容等を証明できる根拠資料（エントリーシート、プレゼン資料及び予選又は決勝の審査用紙等）を提出）してください。

(4) 海外体験に係る注意事項

「S X I P国際協働演習」において海外体験するにあたっては、以下の点に注意してください。

・ 助言教員・指導教員と日程や内容について十分に相談した上、「海外渡航届」を所属の学務担当係に提出してください。

・ 必ず、事前に「海外安全講習(E-learning)」またはそれに準ずる内容を履修して十分な知識を身に付けた上で、プログラム担当者・引率者の指示に従い、参加してください。

・ 海外、卒業修得単位数や卒業論文作成、就職活動との兼ね合い等、十分に検討してください。

・ 本副専攻プログラムは学生の海外体験について責任を負うものではありません

5 修了証書の申請方法

1 ページの【表 1】の要件を満たした時点で申請できます。

・ 申請は様式②「修了証書申請書」に必要事項を記入し、学務・国際戦略部グローバル推進課国際教育係（学生センター2F）に申請します。

・ 申請に基づき、修了要件を満たしているかを関係委員会が審査します。審査の結果、要件を満たしていると判断された場合には、国際戦略推進機構長から修了証書が授与され、成績証明書に副専攻名が記載されます。

・ 申請は随時受け付けますが、学期ごとの受付締切日は以下のとおりで、それぞれ9月末、3月末に修了証が交付されます。

【当該学期卒業見込者以外】 8月の第3金曜日、2月の第3金曜日

【当該学期卒業見込者】 7月の第4金曜日、1月の第4金曜日<<厳守>>

※卒業見込者は、最終学期に履修した科目を修了要件科目に含めることはできませんので、それを前提に履修計画を立ててください。

6 問い合わせ先（キャンパスマップを参照）

YOKOHAMA－S X I P副専攻プログラムに係る問い合わせ先は以下のとおりです。

横浜国立大学学務・国際戦略部グローバル推進課国際教育係（学生センター2階）

Email : kokusai.kyoiku@ynu.ac.jp

Tel : 045-339-3186

参考資料 1

2023年度開講科目について

2023年度の開講科目は以下のとおりです。開講学期、曜日、時限は変更される場合があります。最新の情報については、学務情報システムや掲示板等でご確認ください。

単位が卒業単位になるか増加単位になるかは、学部により異なります。所属学部の学務担当係で確認してください。

(A) SXIP科目

| 時間割コード | 期間 | 曜日 | 時限 | 科目名 | 科目区分 / 備考 |
|---------|----|-----|-----|------------|-----------|
| 9103076 | 通年 | 不定期 | 不定期 | SXIP国際協働演習 | 全学教育/教養教育 |

(B) MAB/SDGs関連科目

| 時間割コード | 期間 | 曜日 | 時限 | 科目名 | 科目区分/ 備考 |
|---------|----|----|----|------------|-----------|
| 9102623 | 春 | 水 | 4 | MAB計画とSDGs | 全学教育/教養教育 |

(C) 産業界等連携科目

| 時間割コード | 期間 | 曜日 | 時限 | 科目名 | 科目区分/ 備考 |
|---------|----|----|----|------------------------------|-----------|
| 9103075 | 第3 | 集中 | - | グローバル人材と持続的開発 (JICE 連携講座) | 全学教育/教養教育 |
| 9103082 | 秋 | 集中 | - | 現場から考える国際開発協力 (JICA 連携講座) | 全学教育/教養教育 |

* YNUビジネスプランコンテスト参加の活動は本副専攻プログラム (C) 産業界等連携科目の1単位相当とみなします。

(D) グローバル関連科目

| 時間割コード | 期間 | 曜日 | 時限 | 科目名 | 科目区分/ 備考 |
|---------|----|----|----|--|-----------|
| - | 秋 | - | - | インド事情 (開講予定) | 全学教育/教養教育 |
| - | 秋 | - | - | オーストラリア事情 (開講予定) | 全学教育/教養教育 |
| - | - | - | - | 英語演習 1c * | 全学教育/教養教育 |
| 9005701 | 秋 | 集中 | - | 英語演習 2a * | 全学教育/教養教育 |
| 9005702 | 秋 | 集中 | - | 英語演習 2b * | 全学教育/教養教育 |
| - | - | - | - | 英語アカデミックレベントーションスキル演習* 【隔年開講：2023年度不開講】 | 全学教育/教養教育 |
| 9005751 | 春 | 集中 | - | TOEFL-iBTスピーキング対策演習* 【隔年開講】 | 全学教育/教養教育 |

* 履修登録及び受講クラスは全学教育科目のルールに従うこと。

参考資料 2

様式① 修了証書申請書

令和 年 月 日

国際戦略推進機構長 殿

修了証書申請書

私は、YOKOHAMA-SXIP副専攻プログラムにおいて、所定の単位を満たしたので、以下のとおり修了証書を申請します。

| | | | |
|-------------------------|-----------------------------------|-----------|-----------------------------------|
| 氏名 | 学籍番号 | | |
| 学部 | 学科・コース等 | | |
| メールアドレス | | | |
| 授業カテゴリー | 科目名・単位数 (下記に科目名・単位数を記入してください。) | | |
| (A) SXIP科目 (必修)【2単位】 | 単位数： | | |
| (B) MAB/SDGs関連科目 | 1 単位数： | 2 単位数： | (B)～(D)の中から 2カテゴリーで 【4単位以上】 |
| (C) 産業界等連携科目 | 1 単位数： | 2 単位数： | |
| (D) グローバル科目 | 1 単位数： | 2 単位数： | |
| | 3 単位数： | 4 単位数： | 単位数： |
| 合計【6単位以上】 | 単位数： | | |

様式② 「産業界等連携科目」認定申請書

令和 年 月 日

国際戦略推進機構長 殿

「産業界等連携科目」認定申請書

YNUビジネスプランコンテストでの学修について、YOKOHAMA-SXIP副専攻プログラムの「産業界等連携科目」として、認定申請書を以下のとおり提出します。

| | |
|---|-----------------|
| 氏名 | 学籍番号 |
| 学部 | 学科・コース等 |
| メールアドレス | |
| 学修内容（活動内容の概要） | |
| 【重要！】「YNU ビジネスプランコンテスト」での活動内容等を証明できる根拠資料（エントリーシート、プレゼン資料及び予選又は決勝の審査用紙等）を必ず添付してください。 | |
| 学修時間数： | 時間（詳細は別に添付すること） |